

赤川砂防だよい



国土交通省

みんなで防ごう土砂災害

発行：新庄河川事務所
赤川砂防出張所

第108号：令和元年6月

土石流模型実験

働く車
今年も大人気でした！



魚のつかみどり

夕キ夕ロウまつり 赤川砂防展



朝日連峰大鳥
登山口安全祈願祭



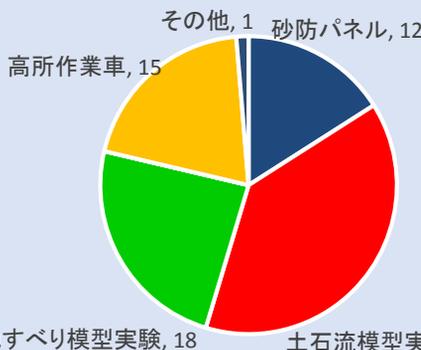
立体地図や管内のハザードマップ等も展示しました

令和元年5月26日(日)鶴岡市大鳥で夕キ夕ロウまつりが開催されました。赤川砂防出張所では砂防事業に関するパネル展示、模型実験を月山ダム管理所と同じtentで行いました。工事業者(チームこくどももるたい)による高所作業車の乗車体験では約360人の方が体験しました。

また、SABOカードの配布とともに実施したアンケートには約50名の方にご協力頂きました。

昨年のアンケートで地すべりという単語の認知度が高かった事を反映して、今年は「地すべり模型」も展示しました！

赤川砂防展で楽しかった・
分かりやすかったものは
どれですか？(複数回答)



今年実施したアンケートでは、土石流、地すべり模型で楽しんで理解を深めて頂いた事がわかりました。「知らないところで頑張ってくれているんだなと思った」、「説明が分かりやすかった」など感想をいただきました。たくさんの方にご来場頂きありがとうございました！



地すべり模型実験, 18

土石流模型実験, 29

戸沢川砂防堰堤SABOカードは引き続き出張所で配布しています。平日9:00~17:00までお待ちしております！



環境に配慮しながら工事を進めています。

砂防工事を進める際には工事箇所周辺の環境調査を実施しています。今回は猛禽類調査を請け負っている東北緑化環境保全(株)にお話を伺いました。

写真左から
イヌワシ、
サシバ、ノスリ

猛禽類（もうきんるい）とは

鋭い爪とくちばしを持ち他の動物を捕食する習性のある鳥類の総称で、生態系の上位に位置しています。ワシ、タカ、ハヤブサなどが代表的です。自然豊かな赤川砂防出張所管内でもイヌワシ、サシバ、ノスリなど希少な猛禽類が生息していることが分かっています。

どのように調査を行っているか同行し教えてもらいました。

調査は作業員が上流と下流、二手に分かれて無線で連絡を取り合いながら猛禽類がどの辺で行動しているのか観察していました。



1日調査して1度も鳥が現れない日もあればずっと出ている日もあります。

繁殖の兆候があるかどうか、体の変化や羽の様子も見ながら観察しています。



車には業務名を明記しています。

現場の担当者さんにお話を伺いました。

調査期間はどのくらいですか？

運天さん: 調査期間は通年ですが、繁殖期の調査は3月から7月まで継続して行います。繁殖が確認された場合は幼鳥が巣立つ時期まで行います。その後は11、12月に翌年に向けての調査をします。

工事現場の近くで繁殖が確認された時は、新庄河川事務所に連絡するとともに、有識者の意見をもらうことにしております。その上で工事が繁殖への影響が小さいと判断された場合は工事業者さんにコンディショニングを行いながら工事を始めてもらうよう連絡しております。



工事施工業者と打合せ中の
東北緑化環境保全(株)現場担当
運天 さつきさん(写真左側)

コンディショニングとは何ですか？

運天さん: 猛禽類は日常的な騒音や環境の変化を受けてもそれに順応すると言われていています。子育てしている巣から遠い場所から工事着手したり、作業時間と休止時間を繰り返して少しずつ作業時間を延ばしてゆき、工事の音などに徐々に慣らすことで繁殖などへの影響を低くする手法です。

コンディショニング期間中も猛禽類に異常がないか確認をしながら、期間中異常がみられなかった場合はその後通常どおりの工事になります。

こんな風に工事の進捗と環境保護の両立を図っているんですね！

調査で苦労する事について伺った所、雪が多い時期の調査では雪崩に備えてビーコンを持ったり一人で行動しない事、危ない時は調査位置を変えるなど気をつけているそうです。

「幼鳥が無事巣立ったのを見届けたとき、ああ良かったなと安心します。」と話して下さいました。取材に協力して下さいました東北緑化環境保全(株)の皆さん、ありがとうございました！

国土交通省 東北地方整備局 新庄河川事務所 赤川砂防出張所
〒 997-0404 山形県鶴岡市下名川字落合 2 2 7
TEL : 0235 (53) 2841 FAX : 0235 (53) 2807
HPアドレス <http://www.thr.mlit.go.jp/shinjyou/>



くわしくは
こちらの
QRコードを
どうぞ！

